

② 関係団体等アンケート調査票



「なごやか地域福祉2029」策定へのご意見をお聞かせください

「なごやか地域福祉2029」策定事務局

名古屋市では、市民の誰もが住みなれた地域で安心して暮らせるよう、名古屋市の「地域福祉計画」と名古屋市社会福祉協議会の「地域福祉推進計画」とを一体的に策定し、令和2年度より推進しています。このたび、令和7（2025）年度からの新たな5か年計画「なごやか地域福祉2029」の策定にあたり、協議を行っているところです。

そこで、これまで地域で様々な活動をされている地域福祉推進協議会の状況やご意見をお伺いしたいと存じます。是非ともご協力くださいますようお願いいたします。

なお、本計画は、各区社会福祉協議会で策定が進められております「地域福祉活動計画」とは、別のものとなりますので、ご承知おきください。

- このアンケートは、市内267学区、全ての地域福祉推進協議会（以下「推進協」といいます。）を対象にお願いするものです。
- 現行の「なごやか地域福祉2020」は、以下のウェブサイトをご覧ください。

公式ホームページでは、計画の推進状況を
順次お知らせしています。

なごやか地域福祉2020

検索



アンケートの答え方

- 1 ご記入は、あてはまる番号に○を記入してください。また、「その他」などは直接ご意見を記入してください。
- 2 ご記入いただいた回答用紙につきましては、お手数をおかけして申し訳ございませんが、**令和5年11月30日（木）までに「わだちコンピュータハウス」あて同封の封筒にて郵送**くださいますようお願い申し上げます。

《アンケートに関する問い合わせ先》（「なごやか地域福祉2029」策定事務局）
名古屋市健康福祉局高齢福祉部地域ケア推進課（足立、渡辺、加納）TEL 972-2548
社会福祉法人名古屋市社会福祉協議会地域福祉推進部（坂井、廣門）TEL 911-3193

貴推進協についてお尋ねします

- ① 貴推進協の学区を教えてください。

学区

- ② 貴推進協では、推進協の各取り組みに参加するなど実際に活動している人(実人員)は
何人くらいいますか。(この質問は、貴推進協の活動規模をお尋ねするものです)
(○は**1つだけ**)

- 1 20人以下
- 2 21人～50人
- 3 51人～100人
- 4 101人～200人
- 5 201人以上

- ③ ②で回答いただいた実際に活動している人の年齢層についてお尋ねします。
(主となる年齢層に**1つだけ**○)

- 1 30歳代以下が中心
- 2 40歳代が中心
- 3 50歳代が中心
- 4 60歳代が中心
- 5 70歳代以上が中心

I. 地域福祉の推進に必要な体制について検討するため、貴推進協の地域における活動についてお尋ねします。

1. 貴推進協の現在の状況についてお尋ねします

- 問1 貴推進協での、協議の場についてお尋ねします。

日ごろの活動の打合せや地域課題(地域の困り事)などの解決に向けた話し合いは、
どのような場や機会に行っていますか。(○は**いくつでも**)

- 1 特に行っていない
- 2 学区の各種団体の連絡会に合わせて推進協の会議を開催する
- 3 定期的に推進協の会議を開催する(総会含む)
- 4 事業の前後に従事する推進協の構成員が会議を開催する
- 5 地域支えあい事業(※1)の活動連絡会議で行っている
- 6 その他(具体的に:)

※1 地域支えあい事業とは、ちょっとした困り事を、住民ボランティアによるお助け活動
により解決することで、地域力の向上をはかることを目的とした事業です。

- 【問1の2～6に○をつけた方は、次の質問にお答えください。】

- 問2 問1の打合せや話し合いの場は年に何回ありますか?(上記で複数回答の場合は
それぞれの回数の合計になります)(○は**1つだけ**)

- 1 年間、3回以下
- 2 年間、4回～8回
- 3 年間、9回～12回
- 4 年間、13回以上
- 5 その他(具体的に:)

- 問3 区社会福祉協議会(区社協)との連携について、どの程度行っていますか。
(○は**いくつでも**)

- 1 地域で把握された問題について、必要の都度、相談している
- 2 年度の事業計画を作る際に相談している
- 3 事業の企画・準備をする際に必要に応じて相談している
- 4 事業の実施の際に必要なに応じて職員に来てもらう
- 5 事業実施後の反省会に必要なに応じて職員に来てもらう
- 6 研修会などに参加し、それ以外では特に相談することはない
- 7 その他(具体的に:)

問4 貴推進協で力を入れている活動や特色のある活動についてお尋ねします。

(○はいくつでも)

- 1 福祉ニーズ調査、住民座談会などの地域住民ニーズ把握活動
- 2 広報紙の発行などの広報・啓発活動
- 3 ふれあいネットワーク (※2) などの見守り活動
- 4 ふれあい給食サービス
- 5 子ども食堂 (※3)
- 6 認知症カフェ (※4)
- 7 ふれあい・いきいきサロン (※5)
- 8 子育てサロンなどの子育て支援活動
- 9 地域支えあい事業など日常生活のちょっとした困り事の相談受付や支援
- 10 学校と協力した福祉教育活動
- 11 障害者・児と住民との交流活動
- 12 ボランティアの育成活動
- 13 防災活動や災害時の要配慮者への支援活動 (※6)
- 14 地域支え合いマップづくり (※7) などの地域の実態把握活動
- 15 専門職との話し合いの場の設置
- 16 その他 (具体的に:)

※2 ふれあいネットワークとは、日常的に援助を必要とする人を複数の地域住民などで、日常的に見守り、助け合う活動です。

※3 子ども食堂とは、困難を抱える子どもたちを含め、様々な子どもたちに対し、食事の提供を通じて、食育や貴重な団らん、地域における居場所確保の機会を提供しているところ です。

※4 認知症カフェとは、認知症の人やその家族、地域住民、専門職など認知症に関心のある誰もが気軽に集まり、仲間づくりや情報交換を行う拠点です。

※5 ふれあい・いきいきサロンとは、地域の身近な場所に高齢者などが気軽に集まり、仲間づくりや生きがいづくりを行う活動です。子育てサロン (子育て中の親子を対象とした活動) については「8」と回答してください。

※6 災害時の要配慮者への支援とは、高齢者、障害者、妊産婦、乳幼児、病弱者、傷病者、日本語が不自由な外国人など、災害時の一連の行動に対してハンディを負う方々を支援する活動です。

※7 地域支え合いマップづくりとは、白地図にひとり暮らし高齢者など気になる人の家に印をつけ、誰がどのような 関わりをしているかを可視化することで、社会資源や地域課題を共有し、解決策を見出ししていく取り組みです。

問5 貴推進協が活動を行う時にどのような障害や問題点がありますか。(○はいくつでも)

- 1 活動場所の確保
- 2 活動資金の調達
- 3 活動の担い手や運営スタッフ不足
- 4 活動の担い手や運営スタッフの固定化
- 5 活動の担い手や運営スタッフの活動意欲の低下
- 6 活動のマンネリ化
- 7 活動に関する助言を求めたいが、相談先がない、もしくは分からない
- 8 活動に対する地域住民の理解不足
- 9 構成団体間の連携が不十分
- 10 構成団体以外の関連団体との連携が不十分
- 11 地域住民に対して活動に関する情報の発信が不十分
- 12 地域で活動する機会を得るのが難しい
- 13 その他 (具体的に:)

問6 貴推進協では、災害時における地域の安全や安心などについて、何か実施されていることがありますか。(○はいくつでも)

- 1 推進協活動の担い手や見守り対象者の安否を確認することになっている
- 2 「助け合いの仕組みづくり」(※8)の取り組みに協力している
- 3 地域に提供可能な物資や場所の用意がある
- 4 推進協活動を継続させるための計画やマニュアルを作成して、災害時に備えている
- 5 推進協としての活動計画はないが、区政協力委員会や民生委員協議会、自主防災組織などでそれぞれ救助活動をする事になっている
- 6 今後、どのような活動をしていくか検討していきたい
- 7 特にない

※8 「助け合いの仕組みづくり」とは、地域の自主的な活動として、災害時に支援が必要な住民を把握し、その方を支援する個別計画を予め決めておくことにより、災害時に迅速な安否確認や避難支援を行えるようにするものです。

問7 社会的に孤立した人や世帯が抱えている課題が深刻化する場合が少なくないと言われています。地域において社会的孤立を防止するために特に何が必要だと思われますか。

(○はいくつでも)

- 1 地域住民の理解・関心を高めるための活動
- 2 閉じこもりがちな人や孤立しがちな人(世帯)の情報の把握
- 3 ふれあい・いきいきサロンなど、住民同士の交流を促進する活動
- 4 地域住民による日常的な見守り、助け合い活動
- 5 地域で見守りや助け合い活動を行う地域住民と区役所や専門機関との連携
- 6 地域で交流づくりの活動を行う地域住民とボランティアグループ・NPOとの連携
- 7 身近に相談できる相談場所の設置、周知
- 8 地域住民だけでは対応が困難な事案について、直接訪問するなどの支援を行う専門職による支援
- 9 地域の課題や支援が必要な世帯への対応策を話し合う場
- 10 その他(具体的に:)

問8 社会的孤立を防止するために、貴推進協が見守り活動などの取り組みを行うとしたら、特にどのような障害や問題点があると思われますか。(○はいくつでも)

- 1 見守り活動を行う団体の人員が不足している
- 2 個人情報保護に関する意識の高まりにより、対象者の把握が難しい
- 3 関係者間の個人情報の共有が難しい
- 4 個人情報を適切に管理することが難しい
- 5 地域のつながりが薄れたことにより、対象者の把握が難しい
- 6 見守りを拒否する人への対応
- 7 オートロックのマンションなどセキュリティにより見守り活動が難しい
- 8 地域住民とその活動を支援する専門職との連携が不十分
- 9 見守り活動で応答がないなど異常を発見した場合にどうしたらよいかわからないなど、困ったときに相談できる相談窓口や、活動を支援する専門職が不足している
- 10 その他(具体的に:)

2. 今後の取り組みについて、お尋ねします

問1 貴推進協にとって事業を実施する担い手(スタッフ)の確保が重要だと思われますが、どのように対応をお考えですか。(○はいくつでも)

- 1 推進協の構成団体の会員から新たな担い手を募る(募っている)
- 2 推進協の構成員に個人ボランティアやボランティアグループを入れる(入っている)
- 3 事業に合わせて、協力者を募集する(募集している)
- 4 ボランティアグループやNPO、福祉施設などと協力して事業を実施する(実施している)
- 5 事業を実施する上で、現在の担い手で十分である
- 6 その他(具体的に:)

問2 最近、地域において様々な団体や企業などが福祉に関わっていますが、貴推進協では、どのような団体や企業との協力、情報交換が必要と考えていますか。(○はいくつでも)

- | | |
|--|-------------------------|
| 1 各学区の地域福祉推進協議会(※) | 14 地元企業 |
| 2 保健環境委員会 | 15 生活協同組合(生協) |
| 3 女性会 | 16 スーパーマーケット・コンビニ |
| 4 老人クラブ | 17 喫茶店 |
| 5 子ども会 | 18 新聞販売店 |
| 6 消防団 | 19 趣味の活動を行うグループ |
| 7 町内会・自治会 | (スポーツ、娯楽、文化、歴史、まちづくりなど) |
| 8 ボランティアグループ | 20 大学・専門学校 |
| 9 NPO | 21 小中学校・高等学校 |
| 10 社会福祉法人 | 22 保育園・幼稚園 |
| 11 介護保険サービスや障害者総合支援法に基づくサービスなどに関わる民間業者 | 23 PTA |
| 12 医療機関 | 24 郵便局 |
| 13 商店街 | 25 銀行 |
| | 26 その他(具体的に:) |

問3 推進協の事業に限らず、住民の参加による地域での取り組みとして、どのような活動が重要と思われますか。(〇はいくつでも)

- 1 地域で孤立する人びとを見守る、ふれあいネットワーク活動
- 2 閉じこもりがちな高齢者のための、ふれあいいきいきサロン活動
- 3 障害児・者と地域住民の理解を深める交流活動
- 4 子育て世代のための子育てサロン活動
- 5 子どもたちに福祉の理解を深め、福祉の心を育てる活動
- 6 傷病などによる臨時的な援助が必要な世帯への緊急時の援助活動
- 7 外国人などとの共生の問題（文化の違いやコミュニケーションの難しさなど）に対する理解を深めるための活動
- 8 高齢者・親・子などの理解を深める世代間の交流活動
- 9 地域の新しい担い手を育てるボランティアの養成
- 10 日常生活のちょっとした困り事の支援
- 11 防災活動や災害時の要配慮者への支援活動
- 12 住民同士や住民と専門機関などが話し合える場づくり
- 13 身近な地域で困り事などの相談を受け止める窓口の設置
- 14 子どもを中心に地域のつながりをつくる子ども食堂活動
- 15 移動販売などの買い物支援活動
- 16 その他（具体的に： ）

Ⅱ. 地域福祉の推進のために必要な支援について検討するため、地域の困り事について、お尋ねします。

問1 現在、貴推進協の活動地域で問題になっていると思うことは何ですか。(〇はいくつでも)

- 1 住民同士の交流する機会の減少
- 2 住民同士の助け合い意識の低下
- 3 地域の治安（防犯）
- 4 災害時に備えた対応や防災対策
- 5 地域の美化
- 6 高齢者世帯や障害者世帯への支援（見守りや生活支援など）
- 7 認知症による周辺症状に伴う近隣トラブル（徘徊など）
- 8 子育て環境（子育ての孤立化など）
- 9 子どもの健全育成（非行やいじめ、子どもの貧困など）
- 10 地域での住みやすさの問題（商業施設の減少や放置された空き家の増加など）
- 11 外国人などとの共生の問題（文化の違いや、コミュニケーションの難しさなど）
- 12 その他（具体的に：
13 特にない
14 わからない

問2 現在、貴推進協の活動地域で、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、活動を中止・縮小していた活動のうち、やめてしまった活動や、再開できていない活動、縮小したままとなっている活動はありますか。(〇は1つだけ)

- 1 ある $\Rightarrow$ 問3へ
- 2 ない $\Rightarrow$ 問4へ
- 3 わからない $\Rightarrow$ 問4へ

＜前ページの問2で1あると回答した人にお尋ねします＞

問3 やめてしまった活動や、再開できていない活動、縮小したままとなっている活動は、どのような活動ですか。(○はいくつでも)
またその理由を、【理由の選択肢】から近いものを選んでください。

記載例 ① 福祉ニーズ調査などの地域住民ニーズ把握活動 … (A)

	理由
1 福祉ニーズ調査、住民座談会などの地域住民ニーズ把握活動	… ()
2 広報紙の発行などの広報・啓発活動	… ()
3 ふれあいネットワークなどの見守り活動	… ()
4 ふれあい給食サービス	… ()
5 子ども食堂	… ()
6 認知症カフェ	… ()
7 ふれあい・いきいきサロン	… ()
8 子育てサロンなどの子育て支援活動	… ()
9 地域支えあい事業など日常生活のちょっとした困り事の相談受付や支援	… ()
10 学校と協力した福祉教育活動	… ()
11 障害者・児と住民との交流活動	… ()
12 ボランティアの育成活動	… ()
13 防災活動や災害時の要配慮者への支援活動	… ()
14 地域支え合いマップづくりなどの地域の実態把握活動	… ()
15 専門職との話し合いの場	… ()
16 その他(具体的に:)	… ()

【理由の選択肢】

- A. 担い手が減少したから
- B. 担い手のモチベーションが低下してしまったから
- C. 活動への参加者が減少したから
- D. 中止・縮小している間に、ノウハウが引き継がれなくなってしまったから
- E. 活動の場となる、住民が集まる行事などが、中止・縮小し、再開していないから
- F. 新型コロナウイルス感染症の感染拡大につながる恐れがあるから
- G. 新型コロナウイルス感染症の感染拡大予防の観点から、外部団体の受け入れを再開していないから
- H. 新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、活動資金が不足するようになり、活動が困難になったから
- I. その他(具体的に:)

問4 地域の困り事を地域住民の課題として、住民同士が協力して解決する力は、この5年間でどのように変わっていると思いますか。(○は1つだけ)

- 1 高まっている
- 2 やや高まっている
- 3 変わらない
- 4 やや低下している
- 5 低下している
- 6 わからない

問5 地域の困り事を地域住民の課題として、住民同士が協力して解決する力を高めるためには、特に何が必要だと思いますか。(○はいくつでも)

- 1 地域福祉ニーズに対応する団体の情報の地域への発信
- 2 活動者への研修などの開催
- 3 専門機関(専門職)のアドバイス
- 4 地域団体やボランティア・NPOとの顔の見える関係づくり
- 5 身近に相談できる人や場所の存在
- 6 高齢者が担い手となるための取り組み
- 7 現役世代が担い手となるための取り組み
- 8 学生などが担い手として参加するための取り組み
- 9 社会福祉法人(福祉施設など)、商店や企業などの地域貢献による支援
- 10 住民が話し合う場
- 11 地域住民の福祉意識を高めるための取り組み
- 12 ICTツール(スマートフォンなど)の活用
- 13 その他()

問6 地域における福祉に関する活動のあり方について、日頃の活動を通して感じていることなどをご自由にお書きください。

ご協力ありがとうございました。

地域福祉に関する計画づくりへのご意見をお聞かせください



地域福祉に関係する団体向けアンケート ご協力のお願い

「なごやか地域福祉2029」策定事務局

名古屋市では、市民の誰もが住みなれた地域で安心して暮らせるよう、「なごやか地域福祉2020（名古屋市の「地域福祉計画」と名古屋市社会福祉協議会の「地域福祉推進計画」とを一体的に策定）」を令和2年3月に策定し、市民の皆様とともに福祉のまちづくりをすすめています。

このたび、令和7（2025）年度からの新たな5か年計画「なごやか地域福祉2029」の策定にあたって、地域福祉に関係する団体向けアンケートを実施することにいたしました。これまで地域で様々な活動をされている法人・団体の皆様のご意見やアイデアを是非ともお伺いしたいと思います。

お忙しいところ誠に恐縮に存じますが、このアンケート調査の趣旨をご理解いただき、ご協力をいただきますようお願い申し上げます。

○ このアンケートは、地域福祉に関する懇談会にご参画をいただいている各団体の事務局様あて送付しております。

○ 各地域の団体等を市レベルで統括している団体にあつては、各地域の団体等から届いている意見や声などに基づき、ご回答いただくとともに、回答が難しいと思われる設問については、無回答としてください。

○ 現行の「なごやか地域福祉2020」は、以下のウェブサイトをご覧ください。

公式ホームページでは、計画の策定及び
推進状況を順次お知らせしています。

なごやか地域福祉2020

検索



アンケートの答え方

1 ご記入は、あてはまる番号に○を記入してください。また、「その他」などは直接ご意見を記入してください。

2 ご記入いただいた回答用紙につきましては、お手数をかけて申し訳ありませんが、**令和5年11月30日（木）までに「わだちコンピュータハウス」あて同封の封筒にて郵送**いただきますようお願い申し上げます。

《アンケートに関する問い合わせ先》（「なごやか地域福祉2029」策定事務局）
名古屋市健康福祉局地域ケア推進課地域福祉係 足立・渡辺・加納 TEL 972-2548
社会福祉法人名古屋市社会福祉協議会地域福祉推進部 坂井・廣門 TEL 911-3193

①貴団体の名称を記入してください。

（ ）

②貴団体の会員は、何人くらいみえますか。（○は**1つだけ**）

- 1 20人以下
- 2 21人～50人
- 3 51人～100人
- 4 101人～200人
- 5 201人以上

③会員の年齢層についてお尋ねします。（○は**1つだけ**）

- 1 30歳代以下が中心
- 2 40歳代が中心
- 3 50歳代が中心
- 4 60歳代が中心
- 5 70歳代以上が中心

④団体の設立された年 （ ）年

⑤団体の活動分野（○は**いくつでも**）

- | | |
|---------|----------------|
| 1 高齢者 | 2 障害者 |
| 3 子ども | 4 まちづくり |
| 5 保健・医療 | 6 災害 |
| 7 地域安全 | 8 国際 |
| 9 環境 | 10 その他（具体的に： ） |

I. 地域福祉の推進に必要な体制について検討するため、貴団体の地域における活動についてお尋ねします。

問1 貴団体の活動は、どの範囲の地域住民と関わっていますか。(○は**1つだけ**)

- 1 小学校区内
- 2 中学校区内
- 3 区内
- 4 名古屋市全体
- 5 愛知県内
- 6 その他 ()
- 7 特に関わっていない

《問1を「7」と回答した場合は、問3へ》

問2 貴団体の問1で回答した地域住民との関わり方は、どのようなものですか。

(○は**いくつでも**)

- 1 本来業務そのものが地域住民を対象としている
- 2 本来業務の一部が地域住民を対象としている
- 3 地域住民を対象とした行事を開催している
- 4 地域での行事等に参加している
- 5 地域住民が行う活動に対し、場所、資金又は物資等の支援をしている
- 6 その他 (具体的に:)

問3 地域において様々な団体や企業等が福祉に関わっていますが、貴団体では、どのような団体や企業等と協力して事業を実施したり、情報交換を行うことが必要と考えていますか。(○は**いくつでも**)

- | | |
|--|-------------------------|
| 1 各学区の地域福祉推進協議会(※1) | 15 商店街 |
| 2 区政協力委員会 | 16 地元企業 |
| 3 民生委員・児童委員協議会 | 17 生活協同組合(生協) |
| 4 保健環境委員会 | 18 スーパーマーケット・コンビニ |
| 5 女性会 | 19 喫茶店 |
| 6 老人クラブ | 20 新聞販売店 |
| 7 子ども会 | 21 趣味の活動を行うグループ |
| 8 消防団 | (スポーツ、娯楽、文化、歴史、まちづくりなど) |
| 9 町内会・自治会 | 22 大学・専門学校 |
| 10 ボランティアグループ | 23 小中学校・高等学校 |
| 11 NPO | 24 保育園・幼稚園 |
| 12 社会福祉法人 | 25 PTA |
| 13 介護保険サービスや障害者総合支援法に基づくサービスなどに関わる民間業者 | 26 郵便局 |
| 14 医療機関 | 27 銀行 |
| | 28 その他(具体的に:) |

(※1)「地域福祉推進協議会」は、地域の各種団体が力を合わせて、学区民(小学校区)一人ひとりの連携を保ちながら、「福祉のまちづくり」を目指していくもので、現在市内全267学区に設置されています。

問4 地域住民や地域の各種団体との関わりを特に意識して活動しておられますか。

(○は**1つだけ**)

- 1 強く意識している
- 2 意識している
- 3 あまり意識していない
- 4 全く意識していない

問5 今後の福祉活動は、住民同士の助け合い、支え合いなど住民の意識の啓発や向上が求められます。貴団体ではそのための新たな活動について、どのようにお考えですか。(○は**1つだけ**)

- 1 課題に対応した活動を自ら実施したい
- 2 他団体の取り組みを期待し、側面的に連携していきたい
- 3 新たな活動の財源が確保されれば実施したい
- 4 新たな活動が必要であると思うが、現在の活動で手一杯であり実施は難しい
- 5 団体としての活動は十分実施しており、新たな活動の必要性を感じない
- 6 その他(具体的に:)

◎ 今後どのような地域活動を行いたい、又は行うとよいと思われますか。具体的に記入ください。

(主なものを記載)

問6 貴団体が地域で活動をする時にどのような障害や問題点がありますか。

(○は**いくつでも**)

- 1 活動場所の確保
- 2 活動資金の調達
- 3 活動の担い手や運営スタッフ不足
- 4 活動の担い手や運営スタッフの固定化
- 5 活動の担い手や運営スタッフの活動意欲の低下
- 6 活動のマンネリ化
- 7 活動に関する助言を求めたいが、相談先がない、もしくは分からない
- 8 活動に対する地域住民の理解不足
- 9 構成団体間の連携が不十分
- 10 構成団体以外の関連団体との連携が不十分
- 11 地域住民に対して活動に関する情報の発信が不十分
- 12 地域で活動する機会を得るのが難しい
- 13 その他(具体的に:)

問7 団体独自で、災害時における地域の安全や安心などについて、何か実施していることがありますか。(○は**いくつでも**)

- 1 団体活動の利用者や職員等関係者の安否を確認することになっている
- 2 「助け合いの仕組みづくり」(※2)の取り組みに協力している
- 3 地域に提供可能な物資や場所の用意がある
- 4 団体活動を継続させるための計画やマニュアルを作成して、災害時に備えている
- 5 今後、どのような活動をしていくか検討していきたい
- 6 特にない

※2「助け合いの仕組みづくり」とは、地域の自主的な活動として、災害時に支援が必要な住民を把握し、その方を支援する個別計画を予め決めておくことにより、災害時に迅速な安否確認や避難支援を行えるようにするものです。

問８ 社会的に孤立した人や世帯が抱えている課題が深刻化する場合が少なくないと言われています。地域において社会的孤立を防止するために特に何が必要だと思われますか。（〇はいくつでも）

- 1 地域住民の理解を得るための啓発活動
- 2 閉じこもりがちの人や孤立しがちな人（世帯）の情報の把握
- 3 サロンなどの地域住民の交流を促進する活動
- 4 地域住民による日常的な見守り、助け合い活動
- 5 地域で見守り、助け合い活動などを行う地域住民と区役所や専門機関との連携
- 6 地域で交流づくりの活動などを行う地域住民とボランティアグループ・ＮＰＯとの連携
- 7 地域で身近に相談できる相談場所の設置
- 8 地域住民だけでは対応が困難な事案について、直接訪問するなどの支援を行う専門職による支援
- 9 その他（具体的に： ）

問9 社会的孤立を防止するために、貴団体が見守り活動などの取り組みを行うとしたら、特にどのような障害や問題点があると思われますか。(〇はいくつでも)

- 見守り活動を行う団体の人員が不足している
- 個人情報保護に関する意識の高まりにより、対象者の把握が難しい
- 関係者間の個人情報の共有が難しい
- 個人情報を適切に管理することが難しい
- 地域のつながりが薄れたことにより、対象者の把握が難しい
- 見守りを拒否する人への対応
- オートロックのマンションなどセキュリティにより見守り活動が難しい
- 地域住民とその活動を支援する専門職との連携が不十分
- 見守り活動で応答がないなど異常を発見した場合にどうしたらよいかわからないなど、困ったときに相談できる相談窓口や、活動を支援する専門職が不足している
- その他（具体的に： ）

ご協力ありがとうございました。

地域福祉に関する計画づくりへのご意見をお聞かせください



地域福祉に関する団体向けアンケート ご協力のお願い

「なごやか地域福祉2029」策定事務局

名古屋市では、市民の誰もが住みなれた地域で安心して暮らせるよう、「なごやか地域福祉2020（名古屋市の「地域福祉計画」と名古屋市社会福祉協議会の「地域福祉推進計画」とを一体的に策定）」を令和2年3月に策定し、市民の皆様とともに福祉のまちづくりをすすめています。

このたび、令和7（2025）年度からの新たな5か年計画「なごやか地域福祉2029」の策定にあたって、地域福祉に関する団体向けアンケートを実施することにいたしました。これまで地域で様々な活動をされている法人の皆様のご意見やアイデアを是非ともお伺いしたいと思います。

お忙しいところ誠に恐縮に存じますが、このアンケート調査の趣旨をご理解いただき、ご協力をいただきますようお願い申し上げます。

- このアンケートは、以下の法人に送付しております。
- ・名古屋市が所轄する社会福祉法人（無作為抽出で100法人）
 - ・名古屋市が所轄する特定非営利活動法人のうち、主な活動分野が「保健・医療・福祉」「子どもの健全育成」の法人（無作為抽出で100法人）

- 現行の「なごやか地域福祉2020」は、以下のウェブサイトをご覧ください。

公式ホームページでは、計画の策定及び
推進状況を順次お知らせしています。

なごやか地域福祉2020

検索



アンケートの答え方

- 1 ご記入は、あてはまる番号に○を記入してください。また、「その他」などは直接ご意見を記入してください。
- 2 ご記入いただいた回答用紙につきましては、お手数をかけて申し訳ありませんが、**令和5年11月30日（木）までに「わだちコンピュータハウス」あて同封の封筒にて郵送**いただきますようお願い申し上げます。

《アンケートに関する問い合わせ先》（「なごやか地域福祉2029」策定事務局）
名古屋市健康福祉局地域ケア推進課地域福祉係 足立・渡辺・加納 TEL 972-2548
社会福祉法人名古屋市社会福祉協議会地域福祉推進部 坂井・廣門 TEL 911-3193

- ①貴法人の名称を記入してください。

（ ）

- ②貴法人の職員は、何人くらいみえますか。（○は**1つだけ**）

- 1 20人以下
- 2 21人～50人
- 3 51人～100人
- 4 101人～200人
- 5 201人以上

- ③職員の年齢層についてお尋ねします。（○は**1つだけ**）

- 1 30歳代以下が中心
- 2 40歳代が中心
- 3 50歳代が中心
- 4 60歳代が中心
- 5 70歳代以上が中心

- ④法人の設立された年 （ ）年

- ⑤法人の活動分野（○は**いくつでも**）

- | | |
|---------|----------------|
| 1 高齢者 | 2 障害者 |
| 3 子ども | 4 まちづくり |
| 5 保健・医療 | 6 災害 |
| 7 地域安全 | 8 国際 |
| 9 環境 | 10 その他（具体的に： ） |

問 4 地域住民や地域の各種団体との関わりを特に意識して活動しておられますか。
(○は **1 つだけ**)

- 1 強く意識している
- 2 意識している
- 3 あまり意識していない
- 4 全く意識していない

問 4-2 貴法人では、地域との関わりについて、どのようにお考えですか。
(○は **いくつでも**)

- 1 地域で催される祭りなどの行事に参加する等、地域との関わりをつくっていききたい
- 2 例えば、配達の最中に見守りを行うなど、日頃の本来業務に付随して貢献できることがあれば、協力をしていきたい
- 3 地域住民が行う福祉的な活動に、必要な場所や物を提供していきたい
- 4 地域住民が行う福祉的な活動に、資金面で支援を行いたい
- 5 地域住民が行う福祉的な活動に、職員も一緒に参加させたい
- 6 特に考えていない
- 7 その他（具体的に： ）

問 4-3 貴法人が地域活動や社会貢献活動などを行う上で、どのような支援があればよいと思いますか。(○は **いくつでも**)

- 1 活動を行っている法人同士の情報交換会の開催や事例集等の作成
- 2 地域福祉全般のニーズや国の動向等がわかる研修会等の開催
- 3 支援を必要としている地域や内容の情報提供
- 4 支援を必要としている地域と支援をしたい法人のマッチングをする相談窓口
- 5 活動を行った法人の成果のPRにかかる支援（場の提供など）
- 6 その他（具体的に： ）

問 5 今後の福祉活動は、住民同士の助け合い、支え合いなど住民の意識の啓発や向上が求められます。貴法人ではそのための新たな活動について、どのようにお考えですか。(○は **1 つだけ**)

- 1 課題に対応した活動を自ら実施したい
- 2 他団体の取り組みを期待し、側面的に連携していきたい
- 3 新たな活動の財源が確保されれば実施したい
- 4 新たな活動が必要であると思うが、現在の活動で手一杯であり実施は難しい
- 5 団体としての活動は十分実施しており、新たな活動の必要性を感じない
- 6 その他（具体的に： ）

問 6 貴法人が地域で活動をする時にどのような障害や問題点がありますか。
(○は **いくつでも**)

- 1 活動場所の確保
- 2 活動資金の調達
- 3 活動の担い手や運営スタッフ不足
- 4 活動の担い手や運営スタッフの固定化
- 5 活動の担い手や運営スタッフの活動意欲の低下
- 6 活動のマナー化
- 7 活動に関する助言を求めたいが、相談先がない、もしくは分からない
- 8 活動に対する地域住民の理解不足
- 9 構成団体間の連携が不十分
- 10 構成団体以外の関連団体との連携が不十分
- 11 地域住民に対して活動に関する情報の発信が不十分
- 12 地域で活動する機会を得るのが難しい
- 13 その他（具体的に： ）

問 7 法人独自で、災害時における地域の安全や安心などについて、何か実施していることがありますか。(○は **いくつでも**)

- 1 法人活動の利用者や職員など関係者の安否を確認することになっている
- 2 「助け合いの仕組みづくり」(※2)の取り組みに協力している
- 3 地域に提供可能な物資や場所の用意がある
- 4 法人活動を継続させるための計画やマニュアルを作成して、災害時に備えている
- 5 今後、どのような活動をしていくか検討していきたい
- 6 特にない

※2「助け合いの仕組みづくり」とは、地域の自主的な活動として、災害時に支援が必要な住民を把握し、その方を支援する個別計画を予め決めておくことにより、災害時に迅速な安否確認や避難支援を行えるようにするものです。

問8 社会的に孤立した人や世帯が抱えている課題が深刻化する場合が少なくないと言われています。地域において社会的孤立を防止するために特に何が必要だと思われますか。(〇はいくつでも)

- 1 地域住民の理解を得るための啓発活動
- 2 閉じこもりがちな人や孤立しがちな人(世帯)の情報の把握
- 3 サロンなどの地域住民の交流を促進する活動
- 4 地域住民による日常的な見守り、助け合い活動
- 5 地域で見守り、助け合い活動などを行う地域住民と区役所や専門機関との連携
- 6 地域で交流づくりの活動などを行う地域住民とボランティアグループ・NPOとの連携
- 7 地域で身近に相談できる相談場所の設置
- 8 地域住民だけでは対応が困難な事案について、直接訪問するなどの支援を行う専門職による支援
- 9 その他(具体的に:)

問9 社会的孤立を防止するために、貴法人が見守り活動などの取り組みを行うとしたら、特にどのような障害や問題点があると思われますか。(〇はいくつでも)

- 1 見守り活動を行う団体の人員が不足している
- 2 個人情報保護に関する意識の高まりにより、対象者の把握が難しい
- 3 関係者間の個人情報の共有が難しい
- 4 個人情報を適切に管理することが難しい
- 5 地域のつながりが薄れたことにより、対象者の把握が難しい
- 6 見守りを拒否する人への対応
- 7 オートロックのマンションなどセキュリティにより見守り活動が難しい
- 8 地域住民とその活動を支援する専門職との連携が不十分
- 9 見守り活動で応答がないなど異常を発見した場合にどうしたらよいかわからないなど、困ったときに相談できる相談窓口や、活動を支援する専門職が不足している
- 10 その他(具体的に:)

Ⅱ. 地域福祉の推進のために必要な支援について検討するため、地域の困り事について、お尋ねします

問1 現在、貴法人の活動地域で問題になっていると思うことは何ですか。
(〇はいくつでも)

- 1 住民同士の交流する機会の減少
- 2 住民同士の助け合い意識の低下
- 3 地域の治安(防犯)
- 4 災害時に備えた対応や防災対策
- 5 地域の美化
- 6 高齢者世帯や障害者世帯への支援(見守りや生活など)
- 7 認知症による周辺症状に伴う近隣トラブル(徘徊など)
- 8 子育て環境(子育ての孤立化など)
- 9 子どもの健全育成(非行やいじめ、子どもの貧困など)
- 10 地域での住みやすさの問題(商業施設の減少や放置された空き家の増加など)
- 11 外国人との共生の問題(文化の違いや、コミュニケーションの難しさなど)
- 12 その他(具体的に:)
- 13 特になし
- 14 わからない

問2 現在、貴法人の活動地域で、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、活動を中止・縮小していた活動のうち、やめてしまった活動や、再開できていない活動、縮小したままとなっている活動はありますか。(〇は1つだけ)

- 1 ある ⇒ 問3へ
- 2 ない ⇒ 問4へ
- 3 わからない ⇒ 問4へ

<前ページの問2で「1 ある」と回答した人にお尋ねします>

問3 やめてしまった活動や、再開できていない活動、縮小したままとなっている活動は、どのような活動ですか。(○は**いくつでも**)

またその理由を、【理由の選択肢】から近いものを選んでください。

記載例 (1) 福祉ニーズ調査、住民座談会などの地域住民ニーズ把握活動… (A)

	理由
1 福祉ニーズ調査、住民座談会などの地域住民ニーズ把握活動 … ()	
2 広報紙の発行などの広報・啓発活動 … ()	
3 地域の見守り活動（ふれあいネットワーク（※3）などを含む）… ()	
4 地域のふれあい活動（ふれあい給食サービスなどを含む） … ()	
5 子ども食堂(※4)などの活動 … ()	
6 認知症カフェ(※5) … ()	
7 サロン活動(※6)（子育てサロン以外） … ()	
8 子育て支援活動（子育てサロンなどを含む） … ()	
9 学校と協力した福祉教育活動 … ()	
10 障害者・児と住民との交流活動 … ()	
11 ボランティアの育成 … ()	
12 日常生活のちょっとした困り事の相談受付や支援 （地域支えあい活動などを含む） … ()	
13 防災活動や災害時の要配慮者への支援活動(※7) … ()	
14 専門職との話し合いの場 … ()	
15 その他（具体的に： … ()	

【理由の選択肢】

- A. 活動の担い手が減少したから
- B. 活動の担い手のモチベーションが低下してしまったから
- C. 活動への参加者が減少したから
- D. 中止・縮小している間に、ノウハウが引き継がれなくなってしまったから
- E. 活動の場となる、住民が集まる行事などが、中止・縮小し、再開していないから
- F. 新型コロナウイルス感染症の感染拡大につながる恐れがあるから
- G. 新型コロナウイルス感染症の感染拡大予防の観点から、外部団体の受け入れを再開していないから
- H. 新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、活動資金が不足するようになり、活動が困難になったから
- I. その他（具体的に： … ()

日常的に見守り、助け合う活動です。

※4 子ども食堂とは、困難を抱える子どもたちを含め、様々な子どもたちに対し、食事の提供を通じて、食育や貴重な団らん、地域における居場所確保の機会を提供しているところです。

※5 認知症カフェとは、認知症の人やその家族、地域住民、専門職など認知症に関心のある誰もが気軽に集まり、仲間づくりや情報交換を行う拠点です。

※6 サロン活動とは、地域の身近な場所に高齢者などが気軽に集まり、仲間づくりや生きがいづくりを行う活動です。子育てサロン（子育て中の親子を対象とした活動）については「8」と回答してください。

※7 防災活動や災害時の要配慮者への支援活動とは、高齢者、障害者、乳幼児、妊婦、傷病者、日本語が不自由な外国人など、災害時の一連の行動に対してハンディを負う方々を支援する活動です。

問4 地域の困り事を地域住民の課題として、住民同士が協力して問題解決する力は、この5年間でどのように変わっていると思いますか。(○は**1つだけ**)

- 1 高まっている
- 2 やや高まっている
- 3 変わらない
- 4 やや低下している
- 5 低下している
- 6 わからない

※3 ふれあいネットワークとは、日常的に援助を必要とする人を複数の地域住民などで、

問5 地域の困り事を地域住民の課題として、住民同士が協力して問題解決する力を高めるためには、特に何が必要だと思いますか。(〇はいくつでも)

- 1 地域福祉ニーズに対応する団体の情報の地域への発信
- 2 活動者への研修等の開催
- 3 専門機関（専門職）のアドバイス
- 4 地域団体やボランティア・NPOとの顔の見える関係づくり
- 5 身近に相談できる人や場所の存在
- 6 高齢者が担い手となるための取り組み
- 7 現役世代が担い手となるための取り組み
- 8 学生などが担い手として参加するための取り組み
- 9 社会福祉法人（福祉施設等）、商店や企業等の地域貢献による支援
- 10 住民が話し合う場
- 11 地域住民の福祉意識を高めるための取り組み
- 12 ICTツール（スマートフォンなど）の活用
- 13 その他（具体的に： ）

ご協力ありがとうございました。

地域福祉に関する計画づくりへのご意見をお聞かせください



地域福祉に関する団体向けアンケート ご協力をお願い

「なごやか地域福祉2029」策定事務局

名古屋市では、市民の誰もが住みなれた地域で安心して暮らせるよう、「なごやか地域福祉2020（名古屋市の「地域福祉計画」と名古屋市社会福祉協議会の「地域福祉推進計画」とを一体的に策定）」を令和2年3月に策定し、市民の皆様とともに福祉のまちづくりをすすめています。

このたび、令和7（2025）年度からの新たな5か年計画「なごやか地域福祉2029」の策定にあたって、地域福祉に関係する団体向けアンケートを実施することになりました。これまで地域で様々な活動をされている団体の皆様のご意見やアイデアを是非ともお伺いしたいと思います。

お忙しいところ誠に恐縮に存じますが、このアンケート調査の趣旨をご理解いただき、ご協力をいただきますようよろしくお願い申し上げます。

- このアンケートは、以下のグループに送付しております。
- ・名古屋市及び名古屋市各区のボランティア連絡協議会に登録のあるボランティアグループ（無作為抽出で100グループ）

- 現行の「なごやか地域福祉2020」は、以下のウェブサイトをご覧ください。

公式ホームページでは、計画の策定及び
推進状況を順次お知らせしています。

なごやか地域福祉2020

検索



アンケートの答え方

- ご記入は、あてはまる番号に○を記入してください。また、「その他」などは直接ご意見を記入してください。
- ご記入いただいた回答用紙につきましては、お手数をかけて申し訳ありませんが、**令和5年11月30日（木）までに「わだちコンピュータハウス」あて同封の封筒にて郵送**いただきますようお願い申し上げます。

《アンケートに関する問い合わせ先》（「なごやか地域福祉2029」策定事務局）
名古屋市健康福祉局地域ケア推進課地域福祉係 足立・渡辺・加納 TEL 972-2548
社会福祉法人名古屋市社会福祉協議会地域福祉推進部 坂井・廣門 TEL 911-3193

関係団体（ボランティア） アンケート 質問票

- ①貴団体・グループ名（以下「団体」という。）を記入してください。
（ ）

- ②貴団体のメンバーは、何人くらいみえますか。（○は**1つだけ**）

- 20人以下
- 21人～50人
- 51人～100人
- 101人～200人
- 201人以上

- ③メンバーの年齢層についてお尋ねします。（○は**1つだけ**）

- 30歳代以下が中心
- 40歳代が中心
- 50歳代が中心
- 60歳代が中心
- 70歳代以上が中心

- ④団体の設立された年 （ ）年

- ⑤団体の活動分野（○は**いくつでも**）

- | | |
|---------|----------------|
| 1 高齢者 | 2 障害者 |
| 3 子ども | 4 まちづくり |
| 5 保健・医療 | 6 災害 |
| 7 地域安全 | 8 国際 |
| 9 環境 | 10 その他（具体的に： ） |

I. 地域福祉の推進に必要な体制について検討するため、貴団体の地域における活動についてお尋ねします。

問1 貴団体の活動は、どの範囲の地域住民と関わっていますか。(○は**1つだけ**)

- 1 小学校区内
- 2 中学校区内
- 3 区内
- 4 名古屋市全体
- 5 愛知県内
- 6 その他(具体的に:)
- 7 特に関わっていない

《問1を「7」と回答した場合は、問3へ》

問2 貴団体の問1で回答した地域住民との関わり方は、どのようなものですか。

(○は**いくつでも**)

- 1 本来業務そのものが地域住民を対象としている
- 2 本来業務の一部が地域住民を対象としている
- 3 地域住民等を対象とした行事を開催している
- 4 地域住民が行う行事等に参加している
- 5 地域住民が行う活動に対し、場所、資金又は物資等の支援をしている
(法人や施設への支援は除く。)
- 6 その他(具体的に:)

《すべての人にお尋ねします》

問3 地域において様々な団体や企業等が福祉に関わっていますが、貴団体では、どのような団体や企業等と協力して事業を実施したり、情報交換を行うことが必要と考えていますか。(○は**いくつでも**)

- | | |
|--|--|
| 1 各学区の地域福祉推進協議会(※1) | 15 商店街 |
| 2 区政協力委員会 | 16 地元企業 |
| 3 民生委員・児童委員協議会 | 17 生活協同組合(生協) |
| 4 保健環境委員会 | 18 スーパーマーケット・コンビニ |
| 5 女性会 | 19 喫茶店 |
| 6 老人クラブ | 20 新聞販売店 |
| 7 子ども会 | 21 趣味の活動を行うグループ
(スポーツ、娯楽、文化、歴史、まちづくりなど) |
| 8 消防団 | 22 大学・専門学校 |
| 9 町内会・自治会 | 23 小中学校・高等学校 |
| 10 ボランティアグループ | 24 保育園・幼稚園 |
| 11 NPO | 25 PTA |
| 12 社会福祉法人 | 26 郵便局 |
| 13 介護保険サービスや障害者総合支援法に基づくサービスなどに関わる民間業者 | 27 銀行 |
| 14 医療機関 | 28 その他(具体的に:) |

※1「地域福祉推進協議会」は、地域の各種団体が力を合わせて、学区民(小学校区)一人ひとりの連携を保ちながら、「福祉のまちづくり」を目指していくもので、現在市内全267学区に設置されています。

問4 地域住民や地域の各種団体との関わりを特に意識して活動しておられますか。
(○は**1つだけ**)

- 1 強く意識している
- 2 意識している
- 3 あまり意識していない
- 4 全く意識していない

問5 今後の福祉活動は、住民同士の助け合い、支え合いなど住民の意識の啓発や向上が求められます。貴団体ではそのための新たな活動について、どのようにお考えですか。(○は**1つだけ**)

- 1 課題に対応した活動を自ら実施したい
- 2 他団体の取り組みを期待し、側面的に連携していきたい
- 3 新たな活動の財源が確保できれば実施したい
- 4 新たな活動が必要であると思うが、現在の活動で手一杯であり実施は難しい
- 5 団体としての活動は十分実施しており、新たな活動の必要性を感じない
- 6 その他(具体的に：)

◎ 今後どのような地域活動を行いたい、又は行うとよいと思われますか。具体的にご記入ください。

(主なものを記載)

問6 貴団体が活動をする時にどのような障害や問題点がありますか。(○は**いくつでも**)

- 1 活動場所の確保
- 2 活動資金の調達
- 3 活動の担い手や運営スタッフ不足
- 4 活動の担い手や運営スタッフの固定化
- 5 活動の担い手や運営スタッフの活動意欲の低下
- 6 活動のマンネリ化
- 7 活動に関する助言を求めたいが、相談先がない、もしくは分からない
- 8 活動に対する地域住民の理解不足
- 9 構成団体間の連携が不十分
- 10 構成団体以外の関連団体との連携が不十分
- 11 地域住民に対して活動に関する情報の発信が不十分
- 12 地域で活動する機会を得るのが難しい
- 13 その他(具体的に：)

問7 団体独自で、災害時における地域の安全や安心などについて、何か実施していることがありますか。(○は**いくつでも**)

- 1 団体活動の利用者や職員等関係者の安否を確認することになっている
- 2 「助け合いの仕組みづくり」(※2)の取り組みに協力している
- 3 地域に提供可能な物資や場所の用意がある
- 4 団体活動を継続させるための計画やマニュアルを作成し、災害時に備えている
- 5 今後、どのような活動をしていくか検討していきたい
- 6 特にない

※2 助け合いの仕組みづくりとは、地域の自主的な活動として、災害時に支援が必要な住民を把握し、その方を支援する個別計画を予め決めておくことにより、災害時に迅速な安否確認や避難支援を行えるようにするものです。

問8 社会的に孤立した人や世帯が抱えている課題が深刻化する場合が少なくないと言われています。地域において社会的孤立を防止するために特に何が必要だと思いますか。(〇は**いくつでも**)

- 1 地域住民の理解を得るための啓発活動
- 2 閉じこもりがちな人や孤立しがちな人(世帯)の情報の把握
- 3 サロンなどの地域住民の交流を促進する活動
- 4 地域住民による日常的な見守り、助け合い活動
- 5 地域で見守り、助け合い活動などを行う地域住民と区役所や専門機関との連携
- 6 地域で交流づくりの活動などを行う地域住民とボランティアグループ・NPOとの連携
- 7 地域で身近に相談できる相談場所の設置
- 8 地域住民だけでは対応が困難な事案について、直接訪問するなどの支援を行う専門職による支援
- 9 その他(具体的に:)

問9 社会的孤立を防止するために、貴団体が見守り活動などの取り組みを行うとしたら、特にどのような障害や問題点があると思われますか。(〇は**いくつでも**)

- 1 見守り活動を行う団体の人員が不足している
- 2 個人情報保護に関する意識の高まりにより、対象者の把握が難しい
- 3 関係者間の個人情報の共有が難しい
- 4 個人情報を適切に管理することが難しい
- 5 地域のつながりが薄れたことにより、対象者の把握が難しい
- 6 見守りを拒否する人への対応
- 7 オートロックのマンションなどセキュリティにより見守り活動が難しい
- 8 地域住民とその活動を支援する専門職との連携が不十分
- 9 見守り活動で応答がないなど異常を発見した場合にどうしたらよいかわからないなど、困ったときに相談できる相談窓口や、活動を支援する専門職が不足している
- 10 その他(具体的に:)

Ⅱ. 地域福祉の推進のために必要な支援について検討するため、地域の困り事について、お尋ねします

問1 現在、貴団体の活動地域で問題になっていると思うことは何ですか。
(〇は**いくつでも**)

- 1 住民同士の交流する機会の減少
- 2 住民同士の助け合い意識の低下
- 3 地域の治安(防犯)
- 4 災害時に備えた対応や防災対策
- 5 地域の美化
- 6 高齢者世帯や障害者世帯への支援(見守りや生活支援など)
- 7 認知症による周辺症状に伴う近隣トラブル(徘徊など)
- 8 子育て環境(子育ての孤立化など)
- 9 子どもの健全育成(非行やいじめ、子どもの貧困など)
- 10 地域での住みやすさの問題(商業施設の減少や放置された空き家の増加など)
- 11 外国人などとの共生の問題(文化の違いや、コミュニケーションの難しさなど)
- 12 その他(具体的に:)
- 13 特にない
- 14 わからない

問2 現在、貴団体の活動地域で、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、活動を中止・縮小していた活動のうち、やめてしまった活動や、再開できていない活動、縮小したままとなっている活動はありますか。(〇は**1つだけ**)

- 1 ある ⇒ 問3へ
- 2 ない ⇒ 問4へ
- 3 わからない ⇒ 問4へ

<前ページの問2で「1 ある」と回答した人にお尋ねします>

問3 やめてしまった活動や、再開できていない活動、縮小したままとなっている活動は、どのような活動ですか。(○はいくつでも)
またその理由を、【理由の選択肢】から近いものを選んでください。

記載例 ① 福祉ニーズ調査、住民座談会などの地域住民ニーズ把握活動… (A)

	理由
1 福祉ニーズ調査、住民座談会などの地域住民ニーズ把握活動 … ()	
2 広報紙の発行などの広報・啓発活動 … ()	
3 地域の見守り活動（ふれあいネットワーク（※3）などを含む）… ()	
4 地域のふれあい活動（ふれあい給食サービスなどを含む）… ()	
5 子ども食堂(※4)などの活動 … ()	
6 認知症カフェ(※5) … ()	
7 サロン活動(※6)（子育てサロン以外）… ()	
8 子育て支援活動（子育てサロンなどを含む）… ()	
9 学校と協力した福祉教育活動 … ()	
10 障害者・児と住民との交流活動 … ()	
12 ボランティアの育成 … ()	
13 日常生活のちょっとした困り事の相談受付や支援 （地域支えあい活動などを含む）… ()	
14 防災活動や災害時の要配慮者への支援活動(※7) … ()	
15 専門職との話し合いの場 … ()	
16 その他（具体的に：) … ()	

【理由の選択肢】

- A. 活動の担い手が減少したから
- B. 活動の担い手のモチベーションが低下してしまったから
- C. 活動への参加者が減少したから
- D. 中止・縮小している間に、ノウハウが引き継がれなくなってしまったから
- E. 活動の場となる、住民が集まる行事などが、中止・縮小し、再開していないから
- F. 新型コロナウイルス感染症の感染拡大につながる恐れがあるから
- G. 新型コロナウイルス感染症の感染拡大予防の観点から、外部団体の受け入れを再開していないから
- H. 新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、活動資金が不足するようになり、活動が困難になったから
- I. その他 ()

※3 ふれあいネットワークとは、日常的に援助を必要とする人を複数の地域住民などで、日常的に見守り、助け合う活動です。

※4 子ども食堂とは、困難を抱える子どもたちを含め、様々な子どもたちに対し、食事の提供を通じて、食育や貴重な団らん、地域における居場所確保の機会を提供しているところです。

※5 認知症カフェとは、認知症の人やその家族、地域住民、専門職など認知症に関心のある誰もが気軽に集まり、仲間づくりや情報交換を行う拠点です。

※6 サロン活動とは、地域の身近な場所に高齢者などが気軽に集まり、仲間づくりや生きがいづくりを行う活動です。子育てサロン（子育て中の親子を対象とした活動）については「8」と回答してください。

※7 防災活動や災害時の要配慮者への支援活動とは、高齢者、障害者、乳幼児、妊婦、傷病者、日本語が不自由な外国人など、災害時の一連の行動に対してハンディを負う方々を支援する活動です。

1 高まっている

- 2 やや高まっている
3 変わらない
4 やや低下している
5 低下している
6 わからない

めるためには、特に何が重要だと思いますか。(〇はいくつでも)

- 1 地域福祉ニーズに対応する団体の情報の地域への発信
- 2 活動者への研修等の開催
- 3 専門機関（専門職）のアドバイス
- 4 地域団体やボランティア・NPOとの顔の見える関係づくり
- 5 身近に相談できる人や場所の存在
- 6 高齢者が担い手となるための取り組み
- 7 現役世代が担い手となるための取り組み
- 8 学生などが担い手として参加するための取り組み
- 9 社会福祉法人（福祉施設等）、商店や企業等の地域貢献による支援
- 10 住民が話し合う場
- 11 地域住民の福祉意識を高めるための取り組み
- 12 ICTツール（スマートフォンなど）の活用
- 13 その他（具体的に：_____）

ご協力ありがとうございました。

地域福祉に関する計画づくりへのご意見をお聞かせください



地域活動や社会貢献活動に関するアンケート ご協力をお願い

「なごやか地域福祉2029」策定事務局

名古屋市では、市民の誰もが住みなれた地域で安心して暮らせるよう、「なごやか地域福祉2020（名古屋市の「地域福祉計画」と名古屋市社会福祉協議会の「地域福祉推進計画」とを一体的に策定）」を令和2年3月に策定し、市民の皆様とともに福祉のまちづくりをすすめています。

このたび、令和7（2025）年度からの新たな5か年計画「なごやか地域福祉2029」の策定にあたって、地域活動や社会貢献活動に関するアンケートを実施することにいたしました。この結果を踏まえ、組合や法人の皆様が地域で活動をするにあたり、必要な本市の支援を検討してまいりたいと考えています。

お忙しいところ誠に恐縮に存じますが、このアンケート調査の趣旨をご理解いただき、ご協力をいただきますようお願い申し上げます。

○ このアンケートは、名古屋市商店街振興組合連合会に加入している組合、本市における福祉の推進にご理解のある法人、市内にキャンパスのある国立・公立大学法人又は私立大学の学校法人の皆様へ送付しています。

○ 現行の「なごやか地域福祉2020」は、以下のウェブサイトをご覧ください。

公式ホームページでは、計画の策定及び
推進状況を順次お知らせしています。

なごやか地域福祉2020

検索



アンケートの答え方

1 ご記入は、あてはまる番号に○を記入してください。また、「その他」などは直接ご意見を記入してください。

2 ご記入いただいた回答用紙につきましては、お手数をかけて申し訳ありませんが、**令和5年11月30日（木）までに「わだちコンピュータハウス」あて同封の封筒にて郵送**いただきますようお願い申し上げます。

《アンケートに関する問い合わせ先》（「なごやか地域福祉2029」策定事務局）
名古屋市健康福祉局地域ケア推進課地域福祉係 足立・渡辺・加納 TEL 972-2548
社会福祉法人名古屋市社会福祉協議会地域福祉推進部 坂井・廣門 TEL 911-3193

アンケート質問票

I. 地域福祉の推進に必要な体制について検討するため、貴法人（組合）の地域活動や社会貢献活動についてお尋ねします。

問1 貴法人（組合）の活動は、どの範囲の地域住民と関わっていますか。
(○は1つだけ)

- | | | |
|-------------|---------|-------|
| 1 小学校区内 | 2 中学校区内 | 3 区内 |
| 4 名古屋市 | 5 愛知県内 | 6 その他 |
| 7 特に関わっていない | (具体的に：) | |

《問1で「7」と回答した場合は、問3へ》

問2 貴法人（組合）の問1で回答した地域住民との関わり方は、どのようなものですか。(○はいくつでも)

- 1 本来業務そのものが地域住民を対象としている
- 2 本来業務の一部が地域住民を対象としている
- 3 地域住民等を対象とした行事を開催している
- 4 地域住民が行う行事等に参加している
- 5 地域住民が行う活動に対し、場所、資金又は物資等の支援をしている（他法人や施設への支援を除く。）
- 6 その他（具体的に：）

問3 地域において様々な団体や企業等が福祉に関わっていますが、貴法人（組合）では、どのような団体や企業等と協力して事業を実施したり、情報交換を行うことが必要と考えていますか。(○はいくつでも)

- | | |
|--|-------------------------|
| 1 各学区の地域福祉推進協議会(※1) | 15 商店街 |
| 2 区政協力委員会 | 16 地元企業 |
| 3 民生委員・児童委員協議会 | 17 生活協同組合（生協） |
| 4 保健環境委員会 | 18 スーパーマーケット・コンビニ |
| 5 女性会 | 19 喫茶店 |
| 6 老人クラブ | 20 新聞販売店 |
| 7 子ども会 | 21 趣味の活動を行うグループ |
| 8 消防団 | (スポーツ、娯楽、文化、歴史、まちづくりなど) |
| 9 町内会・自治会 | 22 大学・専門学校 |
| 10 ボランティアグループ | 23 小中学校・高等学校 |
| 11 NPO | 24 保育園・幼稚園 |
| 12 社会福祉法人 | 25 PTA |
| 13 介護保険サービスや障害者総合支援法に基づくサービスなどに関わる民間業者 | 26 郵便局 |
| 14 医療機関 | 27 銀行 |
| | 28 その他（具体的に：） |

※1「地域福祉推進協議会」は、地域の各種団体が力を合わせて、学区民（小学校区）一人ひとりの連携を保ちながら、「福祉のまちづくり」を目指していくもので、現在市内全267学区に設置されています。

問4 地域住民や地域の各種団体との関わりを特に意識して活動しておられますか。(〇は1つだけ)

- 1 強く意識している
- 2 意識している
- 3 あまり意識していない
- 4 全く意識していない

問 4－2 貴法人（組合）では、地域との関わりについて、どのようにお考えですか。
(〇はいくつでも)

- 1 地域で催される祭りなどの行事に参加する等、地域との関わりをつくっていき
たい
- 2 例えば、配達の際に見守りを行うなど、日頃の本来業務に付随して貢献でき
ることがあれば、協力をしていきたい
- 3 地域住民が行う福祉的な活動に、必要な場所や物を提供していきたい
- 4 地域住民が行う福祉的な活動に、資金面で支援を行いたい
- 5 地域住民が行う福祉的な活動に、職員（学生）も一緒に参加させたい
- 6 特に考えていない
- 7 その他（具体的に： ）

問 4－3 貴法人（組合）が地域活動や社会貢献活動などを行う上で、どのような支援があればよいと思いますか。（〇はいくつでも）

- 1 活動を行っている法人（組合）同士の情報交換会の開催や事例集等の作成
- 2 地域福祉全般のニーズや国の動向等がわかる研修会等の開催
- 3 支援を必要としている地域や内容の情報提供
- 4 支援を必要としている地域と支援をしたい法人（組合）のマッチングをする
相談窓口
- 5 活動を行った法人（組合）の成果のPRにかかる支援（場の提供など）
- 6 その他（具体的に： ）

Ⅱ. 地域福祉の推進のために必要な支援について検討するため、地域の困り事について、お尋ねします

問1 現在、貴法人（組合）の活動地域で問題になっていると思うことは何ですか。
(○はいくつでも)

- 1 住民同士の交流する機会の減少
- 2 住民同士の助け合い意識の低下
- 3 地域の治安（防犯）
- 4 災害時に備えた対応や防災対策
- 5 地域の美化
- 6 高齢者世帯や障害者世帯への支援（見守りや生活支援など）
- 7 認知症による周辺症状に伴う近隣トラブル（徘徊など）
- 8 子育て環境（子育ての孤立化など）
- 9 子どもの健全育成（非行やいじめ、子どもの貧困など）
- 10 地域での住みやすさの問題（商業施設の減少や放置された空き家の増加など）
- 11 外国人などとの共生の問題（文化の違いや、コミュニケーションの難しさなど）
- 12 その他（具体的に： _____）
- 13 特にない
- 14 わからない

問2 現在、貴法人（組合）の活動地域で、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、活動を中止・縮小していた活動のうち、やめてしまった活動や、再開できていない活動、縮小したままとなっている活動はありますか。

（〇は1つだけ）

- 1 ある ⇒ 問3へ
- 2 ない ⇒ 問4へ
- 3 わからない ⇒ 問4へ

<前ページの問2で「1 ある」と回答した人にお尋ねします>

問3 やめてしまった活動や、再開できていない活動、縮小したままとなっている活動は、どのような活動ですか。(○はいくつでも)
またその理由を、【理由の選択肢】から近いものを選んでください。

記載例 ① 福祉ニーズ調査、住民座談会などの地域住民ニーズ把握活動… (A)

	理由
1 福祉ニーズ調査、住民座談会などの地域住民ニーズ把握活動 … ()	
2 広報紙の発行などの広報・啓発活動 … ()	
3 地域の見守り活動（ふれあいネットワーク（※2）などを含む）… ()	
4 地域のふれあい活動（ふれあい給食サービスなどを含む）… ()	
5 子ども食堂(※3)などの活動 … ()	
6 認知症カフェ(※4) … ()	
7 サロン活動(※5)（子育てサロン以外）… ()	
8 子育て支援活動（子育てサロンなどを含む）… ()	
9 学校と協力した福祉教育活動 … ()	
10 障害者・児と住民との交流活動 … ()	
11 ボランティアの育成 … ()	
12 日常生活のちょっとした困り事の相談受付や支援 （地域支えあい活動などを含む）… ()	
13 防災活動や災害時の要配慮者への支援活動(※6) … ()	
14 専門職との話し合いの場 … ()	
15 その他（具体的に：) … ()	

【理由の選択肢】

- A. 活動の担い手が減少したから
- B. 活動の担い手のモチベーションが低下してしまったから
- C. 活動への参加者が減少したから
- D. 中止・縮小している間に、ノウハウが引き継がれなくなってしまったから
- E. 活動の場となる、住民が集まる行事などが、中止・縮小し、再開していないから
- F. 新型コロナウイルス感染症の感染拡大につながる恐れがあるから
- G. 新型コロナウイルス感染症の感染拡大予防の観点から、外部団体の受け入れを再開していないから
- H. 新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、活動資金が不足するようになり、活動が困難になったから
- I. その他 ()

※2 ふれあいネットワークとは、日常的に援助を必要とする人を複数の地域住民などで、日常的に見守り、助け合う活動です。

※3 子ども食堂とは、困難を抱える子どもたちを含め、様々な子どもたちに対し、食事の提供を通じて、食育や貴重な団らん、地域における居場所確保の機会を提供しているところです。

※4 認知症カフェとは、認知症の人やその家族、地域住民、専門職など認知症に関心のある誰もが気軽に集まり、仲間づくりや情報交換を行う拠点です。

※5 サロン活動とは、地域の身近な場所に高齢者などが気軽に集まり、仲間づくりや生きがいがつくりを行う活動です。子育てサロン（子育て中の親子を対象とした活動）については「8」と回答してください。

※6 防災活動や災害時の要配慮者への支援活動とは、高齢者、障害者、乳幼児、妊婦、傷病者、日本語が不自由な外国人など、災害時の一連の行動に対してハンディを負う方々を支援する活動です。

問4 地域の困り事を地域住民の課題として、住民同士が協力して問題解決する力は、ここ5年間でどのようになっていると思いますか。(○は1つだけ)

- 1 高まっている
- 2 やや高まっている
- 3 変わらない
- 4 やや低下している
- 5 低下している
- 6 わからない

問5 地域の困り事を地域住民の課題として、住民同士が協力して問題解決する力を高めるためには、特に何が必要だと思いますか。(○はいくつでも)

- 1 地域福祉ニーズに対応する団体の情報の地域への発信
- 2 活動者への研修等の開催
- 3 専門機関（専門職）のアドバイス
- 4 地域団体やボランティア・NPOとの顔の見える関係づくり
- 5 身近に相談できる人や場所の存在
- 6 高齢者が担い手となるための取り組み
- 7 現役世代が担い手となるための取り組み
- 8 学生などが担い手として参加するための取り組み
- 9 社会福祉法人（福祉施設等）、商店や企業等の地域貢献による支援
- 10 住民が話し合う場
- 11 地域住民の福祉意識を高めるための取り組み
- 12 ICTツール（スマートフォンなど）の活用
- 13 その他（具体的に：)

問6 地域における福祉に関する活動のあり方について、日頃感じていることがございましたら自由にご記入ください。

ご協力ありがとうございました。